

# CASBEE® 熊本 《新築》 【性能表示】

建物概要				外観
建物名称	YK熊本(株)工場新築工事	階数	地上1F	
建設地	熊本県玉名郡長洲町大字名石浜35	構造	S造	
用途地域	工業専用地域、防火地域指定無	平均居住人員	40 人	
気候区分	地域区分	年間使用時間	1,920 時間/年	
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2014年12月25日	
敷地面積	21,994 m <sup>2</sup>	作成者		
建築面積	7,990 m <sup>2</sup>	確認日	2015年1月8日	
延床面積	7,990 m <sup>2</sup>	確認者		

## 1 CASBEE評価結果

**建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)**

環境品質 Q

環境負荷 L

BEE = 0.7

ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出性能 (ランク表示)

**環境効率評価基準**

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B+	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B-	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ライフサイクルCO<sub>2</sub> 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

**排出率**

100%

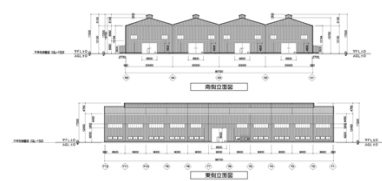
## 2 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価	評価点																				
	72																				
<p><b>評価点</b></p> <p>熊本県重点評価基準</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判定値(評価点)</th> <th>ランク表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80点以上100点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60点以上80点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点以上60点未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40点未満</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	判定値(評価点)	ランク表示	100点以上		80点以上100点未満		60点以上80点未満		40点以上60点未満		40点未満		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td>【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現</td> <td>65.0</td> </tr> <tr> <td>【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全</td> <td>75.0</td> </tr> <tr> <td>【重点事項4】 循環型社会の実現</td> <td>72.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>評価点は、100点以上が推奨です。</p>	【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	75.0	【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	65.0	【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0	【重点事項4】 循環型社会の実現	72.0
判定値(評価点)	ランク表示																				
100点以上																					
80点以上100点未満																					
60点以上80点未満																					
40点以上60点未満																					
40点未満																					
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	75.0																				
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	65.0																				
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	75.0																				
【重点事項4】 循環型社会の実現	72.0																				

# CASBEE® 熊本 《新築》【評価結果】

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。  
 使用評価マニュアル：CASBEE 熊本《新築》2010年改訂版Ver.2 (SPVBE対応) 使用評価ソフト：CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	YK熊本(株)工場新築工事	階数	地上1F
建設地	熊本県玉名郡長洲町大字名石浜35	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火地域指定無	平均居住人員	40人
気候区分	地域区分	年間使用時間	1,920時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年7月 予定	評価の実施日	2014年12月25日
敷地面積	21,994 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	7,990 m <sup>2</sup>	確認日	2015年1月8日
延床面積	7,990 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆☆

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
 参照値: 100%  
 建築物の取組み: 100%  
 上記+ 以外の: 100%  
 上記+: 100%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 2.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.5

### 3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価 評価点 = 72

重点事項1: 温室効果ガス排出量削減の推進 評価点 = 75

重点事項2: 安全安心で暮らしやすい社会の実現 評価点 = 65

重点事項3: 県の地域資源の有効活用と保全 評価点 = 75

重点事項4: 循環型社会の実現 評価点 = 72

#### 重点事項の評価(レーダーチャート)

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 'ライフサイクルCO<sub>2</sub>'とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補  
YK熊本工場新築工事

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI対応)

評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei\

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.30</b>					<b>2.4</b>
<b>1 音環境</b>		<b>1.4</b>	0.23	-	-	-	-	<b>1.4</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>1.0</b>	0.40	-	-	-	-	
1 室内騒音レベル		<b>1.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 設備騒音対策		-	-	-	-	-	-	
<b>1.2 遮音</b>		<b>2.2</b>	0.40	-	-	-	-	
1 開口部遮音性能		<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 界壁遮音性能		<b>1.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>1.3 吸音</b>		<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>		-	-	-	-	-	-	-
<b>2.1 室温制御</b>		-	-	-	-	-	-	-
1 室温		-	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-	-	-	
3 外皮性能		-	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	-	-	
6 個別制御		-	-	-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-	-	-	
8 監視システム		-	-	-	-	-	-	
<b>2.2 湿度制御</b>		-	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>2.3 空調方式</b>		-	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.7</b>	0.38	-	-	-	-	<b>2.7</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>3.0</b>	0.43	-	-	-	-	
1 昼光率		<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 方位別開口		-	-	-	-	-	-	
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>3.2 グレア対策</b>		-	-	-	-	-	-	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	-	-	
2 昼光制御		-	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
3 映り込み対策		-	-	-	-	-	-	
<b>3.3 照度</b>		<b>2.0</b>	0.21	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.36	<b>3.0</b>	-	-	-	
<b>4 空気質環境</b>		<b>2.8</b>	0.38	-	-	-	-	<b>2.8</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
1 化学汚染物質		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 アスベスト対策		-	-	-	-	-	-	
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-	-	-	
4 レジオネラ対策		-	-	-	-	-	-	
<b>4.2 換気</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	-	-	
1 換気量		-	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 自然換気性能		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	-	-	-	
4 給気計画		-	-	-	-	-	-	
<b>4.3 運用管理</b>		<b>2.0</b>	0.20	-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>1.0</b>	0.50	-	-	-	-	
2 喫煙の制御		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.0</b>	0.40	-	-	-	-	<b>2.0</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		-	-	-	-	-	-	
1 広さ・収納性		-	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
3 バリアフリー計画		-	-	-	-	-	-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>1.0</b>	0.50	-	-	-	-	
1 広さ感・景観		-	-	<b>3.0</b>	-	-	-	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	-	-	
3 内装計画		<b>1.0</b>	1.00	-	-	-	-	
<b>1.3 維持管理</b>		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保		<b>3.0</b>	0.50	-	-	-	-	
3 衛生管理業務		-	-	-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.31	-	-	-	-	<b>2.9</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>3.0</b>	0.48	-	-	-	-	
1 耐震性		<b>3.0</b>	0.80	-	-	-	-	
2 免震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20	-	-	-	-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.0</b>	0.33	-	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	0.23	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>3.0</b>	0.23	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.09	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.08	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.15	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.23	-	-	-	-	

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			2.6	0.19		
1	空調・換気設備		3.0	0.20		
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		
3	電気設備		1.0	0.20		
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		
5	通信・情報設備		3.0	0.20		
3 対応性・更新性			3.6	0.29		3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.31		
1	階高のゆとり		5.0	0.60	3.0	
2	空間の形状・自由さ		5.0	0.40	3.0	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38		
1	空調配管の更新性		-	-		
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		
3	電気配線の更新性		3.0	0.13		
4	通信配線の更新性		3.0	0.13		
5	設備機器の更新性		3.0	0.27		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.27		
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40		3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		2.7
LR1 エネルギー			-	0.40		3.0
1 建物の熱負荷抑制			-	-		-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.29		3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		
3 設備システムの高効率化			3.0	0.43		3.0
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		#VALUE!	3.0			
集合住宅の評価			3.0			
4 効率的運用			3.0	0.29		3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		2.6
1 水資源保護			3.0	0.15		3.0
1.1 節水			3.0	0.40		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.63		2.5
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07		
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25		
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21		
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		1.0	0.21		
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.25		
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.22		2.6
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32		
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.68		
1	消火剤		2.0	0.50		
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		
3	冷媒		-	-		
LR3 敷地外環境			-	0.30		2.5
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33		3.0
2 地域環境への配慮			2.0	0.33		2.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		
1	騒音		3.0	0.33		
2	振動		3.0	0.33		
3	悪臭		3.0	0.33		
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		
1	風害の抑制		3.0	0.70		
2	砂塵の抑制		1.0	-		
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		
3.3 光害の抑制			1.6	0.20		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70		
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		

# CASBEE® 熊本 《新築》 【配慮事項】

## 4 設計上の配慮事項

### 総合

注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 特に無し

### Q1 室内環境

注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特に無し

### Q2 サービス性能

注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特に無し

### Q3 室外環境（敷地内）

注) 「Q3 室外環境（敷地内）」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特に無し

### LR1 エネルギー

注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特に無し

### LR2 資源・マテリアル

注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特に無し

### LR3 敷地外環境

注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 特に無し

### その他

注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。

## 熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 YK熊本絨工場新築工事

評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010\_kmt2011(v3.0)

使用評価マニュアル: CASBEE熊本(新築)2011年版

熊本県重点評価結果				総合評価点		72.4
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
<b>温室効果ガス排出量削減の推進</b>				75	0.40	30.00
Q1-2.1.3	外皮性能	3.0	0.00			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.13			
Q1-3.2.2	昼光制御	3.0	0.00			
LR1 1	建物の熱負荷抑制	0.0	0.00			
LR1 2	自然エネルギー利用	3.0	0.25			
LR1 3	設備システムの高効率化	3.0	0.38			
LR2-2.1	材料使用量の削減	3.0	0.13			
LR3 2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.13			
<b>安全安心で暮らしやすい社会の実現</b>				65	0.20	13.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	0.0	0.00			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.33			
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.20			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.27			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	1.0	0.20			
<b>県の地域資源の有効活用と保全</b>				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.29			
LR2-1.1	節水	3.0	0.43			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
<b>循環型社会の実現</b>				72	0.20	14.40
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.6	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

## 評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

## 総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和  
重み係数の総和は、「1」であること。

## 各重点事項( ~ の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20  
重み係数の総和は、「1」であること。

(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数